

LINK Smart

もたず、つながる時代へ

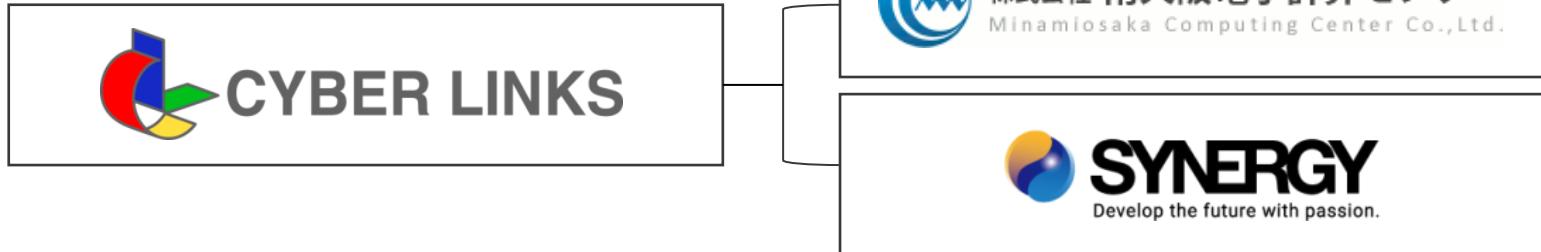
株式会社 サイバーリンクス
2025年12月期 第3四半期決算について
(2025年1月1日～9月30日)



代表取締役社長 東 直樹

東証
スタンダード

組織図



設立

1964年 和歌山市

本社所在地



上場市場

従業員(連結)

子会社

874名

※2024年12月末時点

2社

本社外観



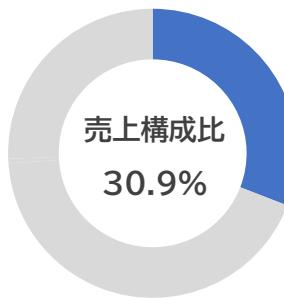
本社オフィス

- 流通クラウド事業、官公庁クラウド事業、トラスト事業、モバイルネットワーク事業の4セグメントで事業を展開。
- 成長ドライバーは流通クラウド事業。

1 流通クラウド事業

食品流通業に特化した
クラウドサービスの提供

to B

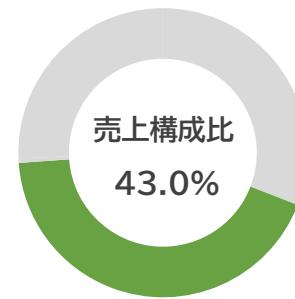


売上 **49** 億円
経常利益 **8.3** 億円

2 官公庁クラウド事業

地方自治体向けの
DXソリューションの提供

to G



売上 **68** 億円
経常利益 **5.0** 億円

3 トラスト事業

公的機関・民間企業向けの
電子証明サービスの提供

to G&B

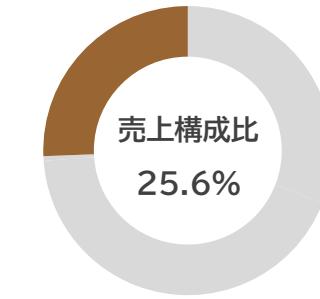


売上 **0.8** 億円
経常利益 **▲0.8** 億円

4 モバイル ネットワーク事業

和歌山県内で
ドコモショップを運営

to C



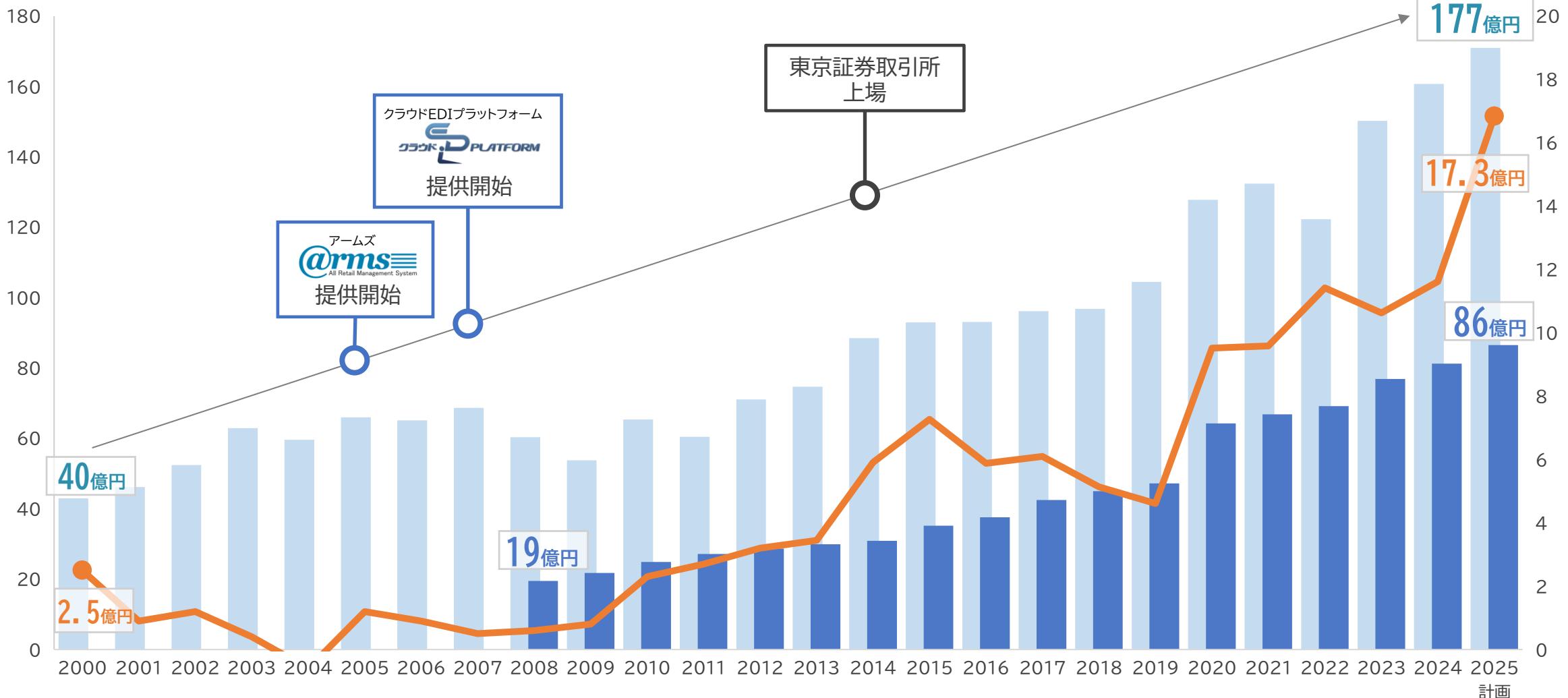
売上 **40** 億円
経常利益 **2.6** 億円

※2024年12月期実績

サイバーリンクスについて 業績推移

- 一過性の売上に依存せず、定期的・継続的に積み上がる収益「定常収入」を重視
- 顧客との長期的な関係性を構築しながら、収益の安定性・耐久性を向上

(単位:億円) 売上高 定常収入 経常利益



- 流通クラウド事業の各種サービス提供拡大や受注済み案件の導入進行
- 官公庁クラウド事業の各種案件が進行

売上高

過去
最高

131 億円前年同期比 **114.4%**通期計画進捗率 **73.9%**

定常収入

過去
最高

65 億円前年同期比 **108.1%**通期計画進捗率 **75.4%**

経常利益

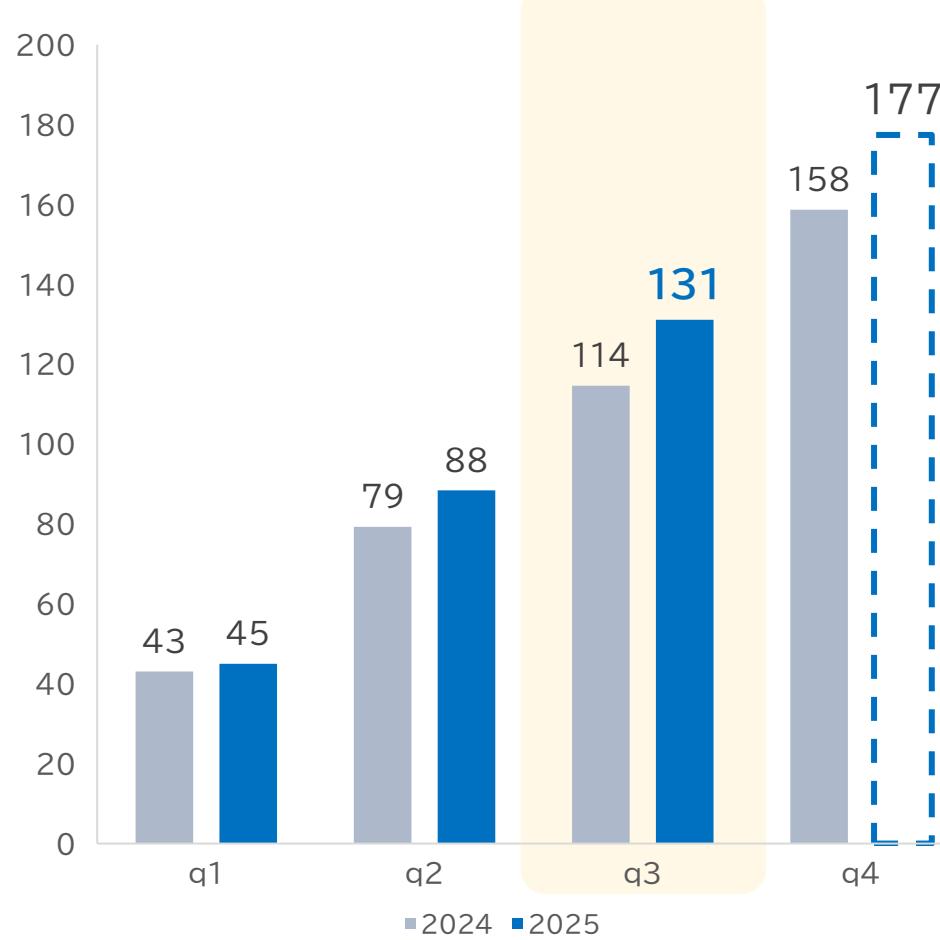
過去
最高

13.3 億円前年同期比 **179.8%**通期計画進捗率 **77.0%**

- 通期についても、売上高、経常利益とも過去最高の更新を目指す

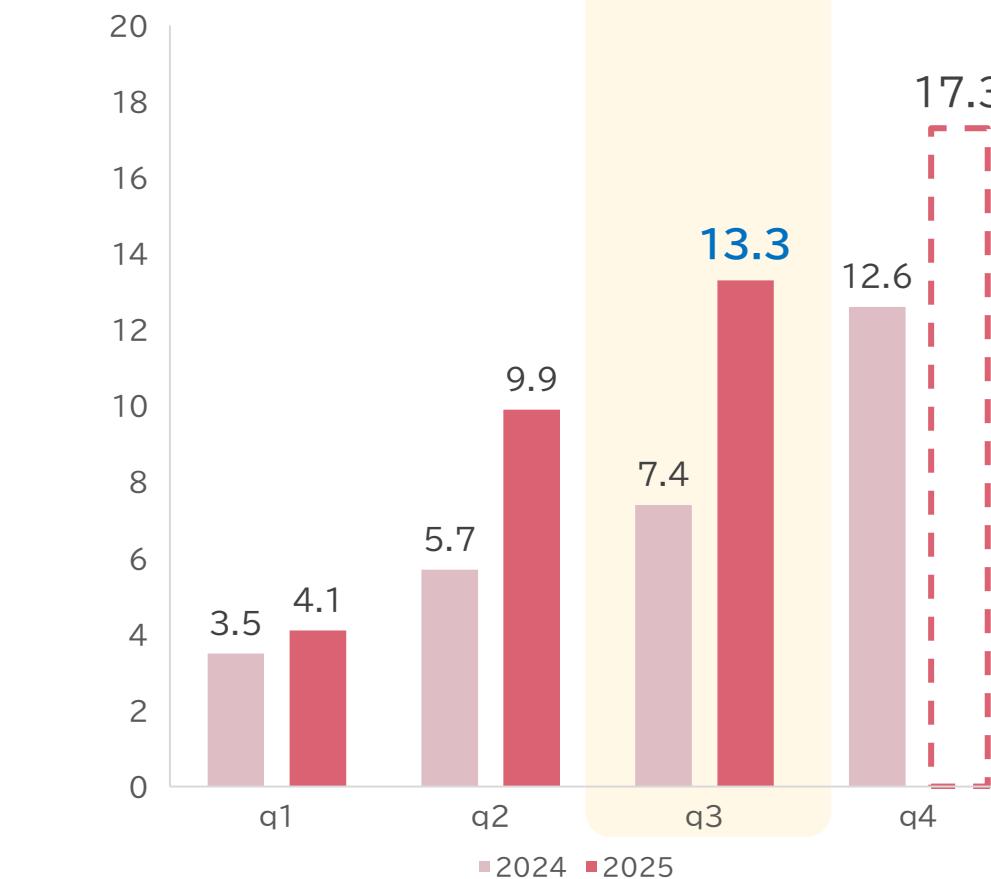
売上高(累計) ■ 実績 □ 期初計画

(単位:億円)



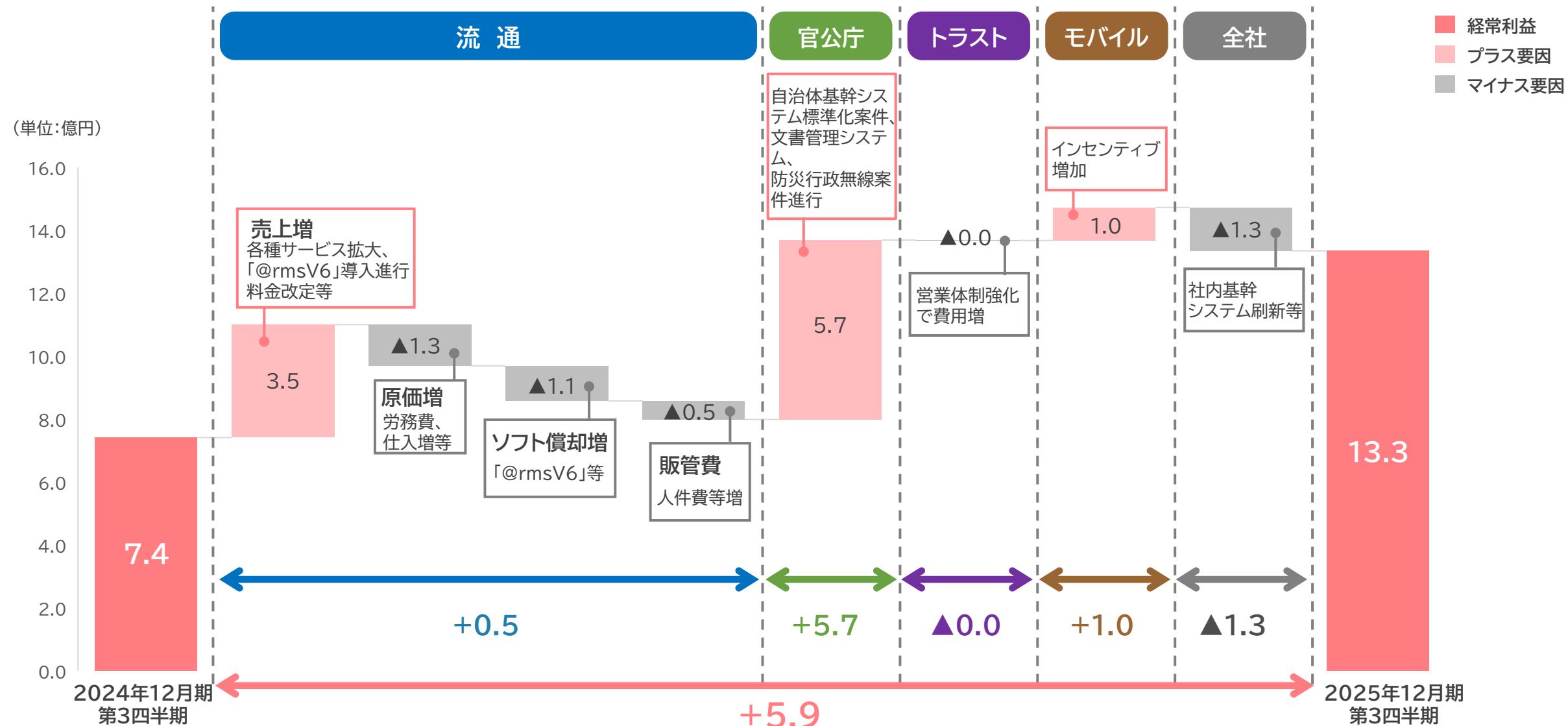
経常利益(累計) ■ 実績 □ 期初計画

(単位:億円)



2025年12月期 第3四半期連結決算 経常利益増減要因

- 流通は、サービス拡大等で增收、開発に係るソフト償却の増加、人員増強等のコスト増を吸収し増益
- 官公庁は、自治体基幹システム標準化案件や防災行政無線案件の進行、文書管理システムの提供拡大等が、全社増益に大きく寄与



流通クラウド事業

■ @rmsV6

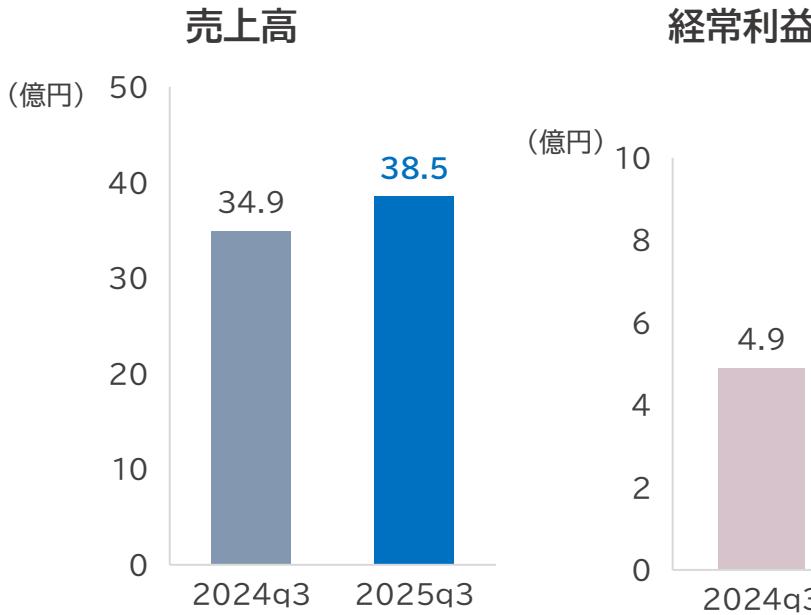
- ・新規ユーザーでの稼働（2025年4月～）
- ・受注済み案件の導入進行による売上増

■ クラウドEDI-Platform

- ・既存大手顧客の当社サービスへの完全移行が完了

■ せんどねっとV2

- ・生鮮EDIの需要拡大、複数の新規受注獲得
- ・大手スーパー・マーケット等で新規稼働



官公庁クラウド事業

■ 自治体DXを背景に複数の案件が進行

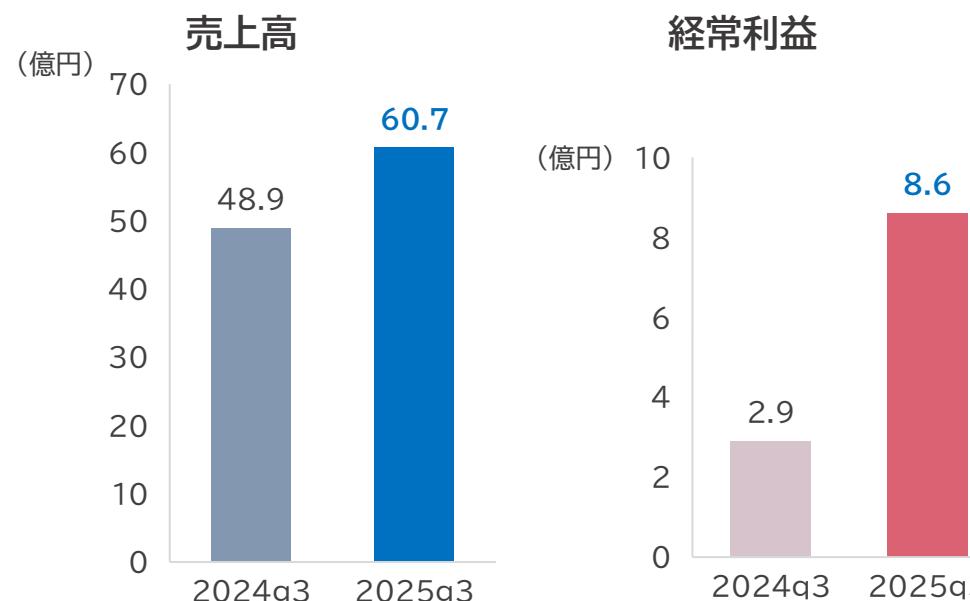
- ・自治体基幹業務システムの統一・標準化案件
- ・文書管理システム
- ・防災行政無線工事案件 等

■ 文書管理システム「ActiveCity」

- ・複数の団体で新規稼働し、定常収入増加
- ・大田区等、大型案件含む複数の新規受注獲得

■ AI技術を持つ企業をM&A(※)

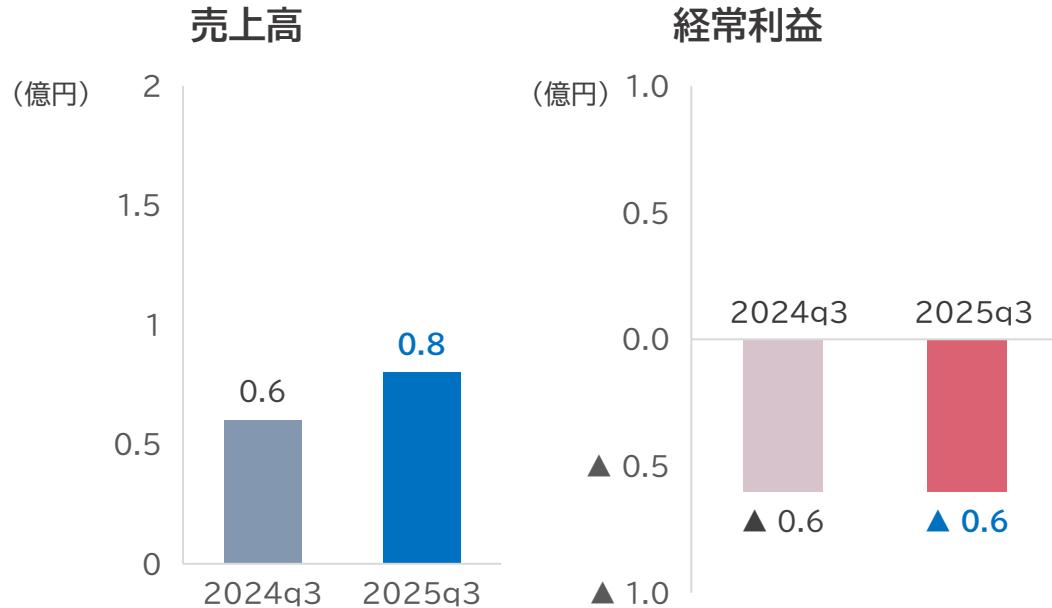
- ・同社のAI技術×「ActiveCity」による文書検索の大幅効率化を目指す
- ※2025年12月1日に子会社シナジー社と合併予定



トラスト事業

- 「CloudCerts」のユースケース拡大
 - ・沖縄県の一部公共交通機関で、「CloudCerts」のデジタル学生証が通学証明書として利用可能に

- 営業体制の強化
 - ・人員増強、外部支援サービスを活用し、営業注力



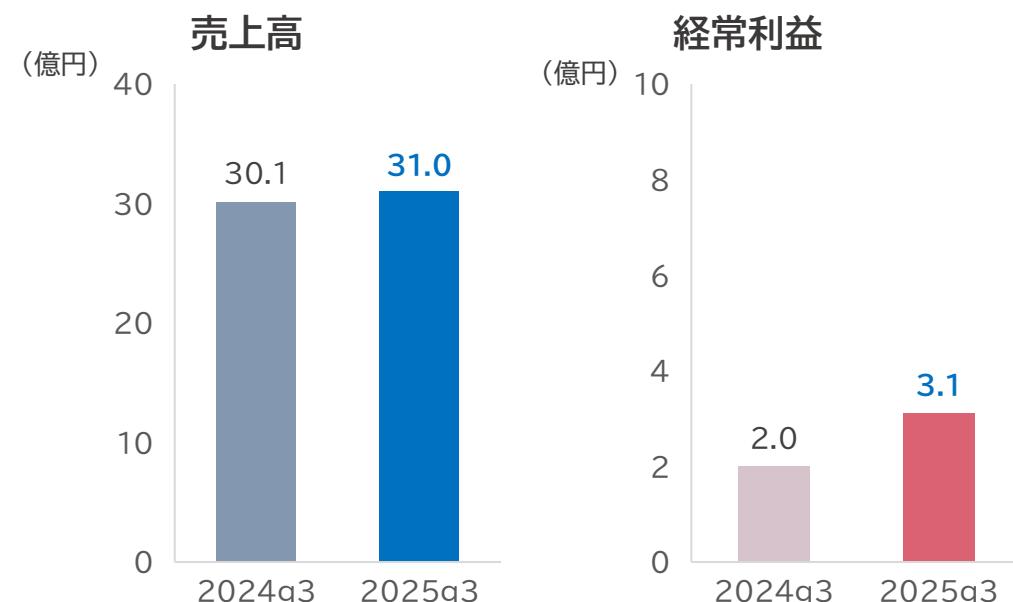
モバイルネットワーク事業

- インセンティブ収入の増加
 - ・キャリアが設定する各指標の目標達成に注力したこと、インセンティブ収入が増加し、利益率改善

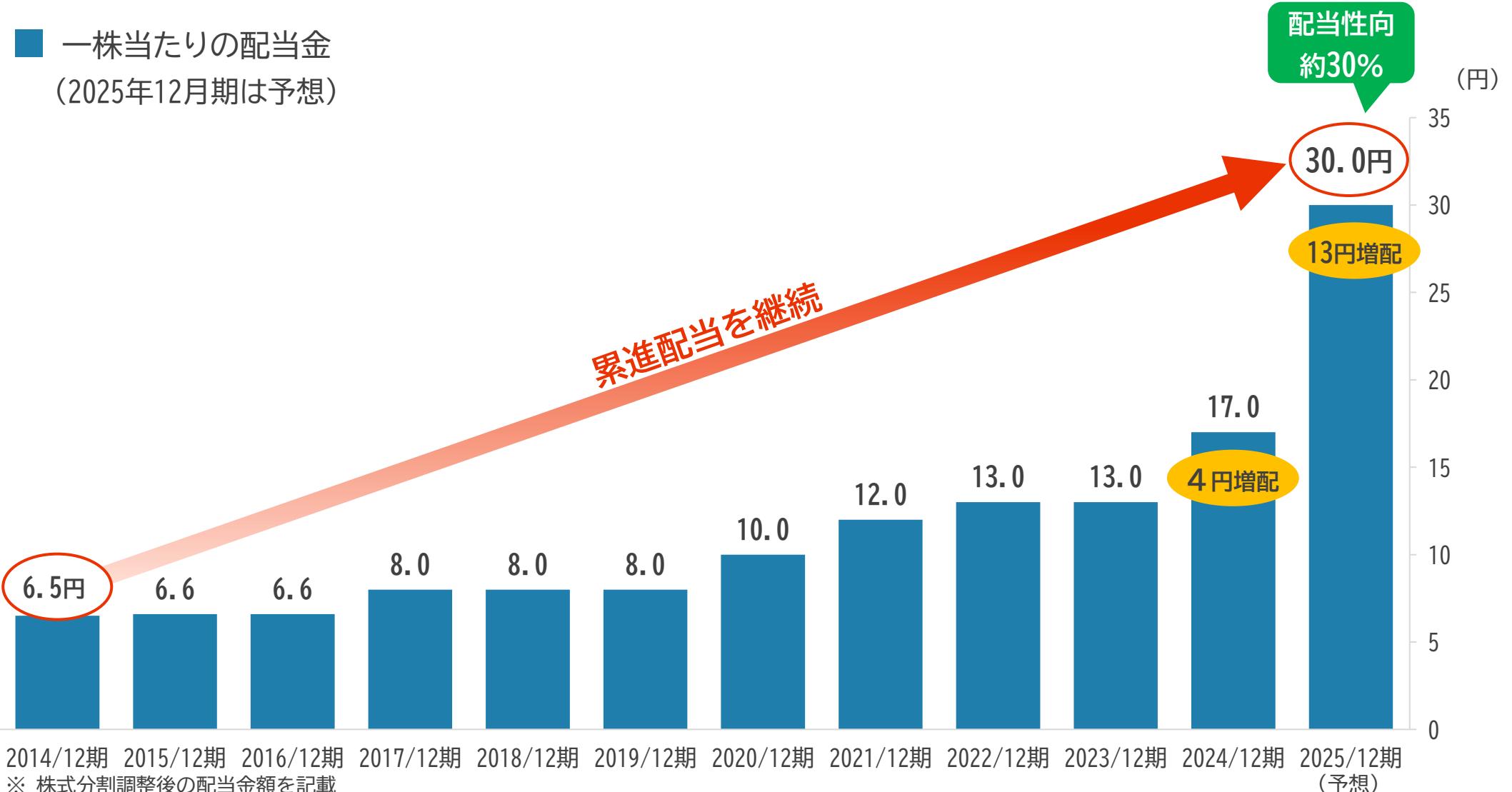
- 端末買い替え需要の拡大
 - ・3Gサービス終了(2026年3月)を控えた需要拡大

- 利益は、通期計画を達成し上振れ

- 店舗接客のオンライン化の試行開始
 - ・店舗運営の効率化を図る



- 事業成長に向けた投資を、積極的かつタイムリーに行うために必要な内部留保を確保しつつ、中期経営計画の進捗による業績向上、収益性の向上(キャッシュフローの改善)にあわせて、配当性向、及び一株当たり配当額の引き上げを行っていく



その他 IRコンテンツのご紹介



- 「X (旧 Twitter)」や「IR note マガジン」の運用など、当社の取組をリアルタイムにキャッチいただけるコンテンツを展開
- シェアードリサーチ社による企業レポートも公開

X (旧 Twitter)



ユーザー名：@CyberLinks_3683

https://x.com/CyberLinks_3683



IR noteマガジン

note

https://note.com/cyberlinks_note



シェアードリサーチ



<https://sharedresearch.jp/ja/companies/3683>



WiLL makes anything すべては思うことからはじまる—



本資料に関するお問合せ
株式会社サイバーリンクス 経営企画課

<https://www.cyber-l.co.jp/inquiry/>

■本資料の取り扱いについて

- ・本書には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ・別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ・当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ・当社グループ以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。